

社会資本総合整備計画 中間・事後評価

平成31年3月
【担当及び関係課】道路交通局道路部街路課、道路課

計画の名称	生活空間における安全・安心を確保する道路等の整備（防災・安全）		
計画の期間	平成28年度（1年間）		
計画の目標	緊急輸送道路の整備に併せて無電柱化を行い、通学路の安全を確保や災害時における避難路及び輸送路の確保など都市の防災機能を向上させ、生活空間における安全・安心を確保する。		
計画の成果目標（定量的指標）	・緊急輸送道路の無電柱化（電線共同溝）の整備率を高める。 ・地域における交通事故件数を減少させる。		
定量的指標の定義及び算定式			備考
		定量的指標の現況値及び目標値	
		当初現況値	中間目標値
		(H26末)	(H28末)
緊急輸送道路の無電柱化（電線共同溝）の整備率（％） （無電柱化の整備率）＝（整備完了総延長）／（整備計画総延長（事業費換算延長））	35.0％		46.0％
地域における交通事故件数（件） （地域における交通事故件数）＝（南蟹屋地区の年間の交通事故件数）＋（旭地区の年間の交通事故件数）＋（東雲本町地区の年間の交通事故件数）	63件		現況水準より減少

評価事項

1. 要素事業の進捗状況

事業費	H28	1,314 百万円	東雲大州線：計画どおり上部工事(L=97m)を行う等、事業を推進した。 霞庚午線：計画どおり用地取得を行う等、事業を推進した。 比治山東雲線：計画どおり道路工事(L=180m)を行う等、事業を推進した。 中3区中広宇品線（城南通り）：電線類地中化（L=490.0m）を計画し、計画通り完成した。 中2区中島吉島線（吉島通り）：電線類地中化（L=1240.0m）を計画し、事業を推進した。 南4区中広宇品線（翠町）：電線類地中化（L=2600.0m）を計画し、事業を推進した。 西1区駅前観音線（中広通り3工区）：電線類地中化（L=800.0m）を計画し、事業を推進した。 中1区霞庚午線：電線類地中化（L=920.0m）を計画し、事業を推進した。 中3区中広宇品線（城南通り2工区）：電線類地中化（L=350.0m）を計画し、事業を推進した。
		百万円	
		百万円	
		百万円	
		百万円	
	合計	1,314 百万円	

2. 事業効果の発現状況、目標値の実現状況

要素事業の 効果の発現状況	【完了した事業】 ○基幹事業 ・中3区中広宇品線（城南通り） 平成28年度に電線類地中化（L=490m）を完成させたことで、都市の防災機能の向上が図れた。 【継続する事業】 ○基幹事業 ・東雲大州線、霞庚午線、比治山東雲線、中2区中島吉島線（吉島通り）、南4区中広宇品線（翠町）、西1区駅前観音線（中広通り3工区）、中1区霞庚午線、中3区中広宇品線（城南通り2工区） 次期計画である「緊急輸送道路における無電柱化の推進（防災・安全）」において引き続き整備を行う。			
目標値の実現状況	指標： 緊急輸送道路の無電柱化（電線共同溝）の整備率（％）			
	中間目標値	最終目標値（H28末）	目標値と実績値に 差が出た 要因	成果目標の達成状況：未達成 理由：目標に近い整備率となったが、一部路線について、占有者との協議に不足の日時を要し、工事着手が遅延したことから目標値を達成することができなかった。
	－	46.0％		
	中間実績値	最終実績値（H28末）		
	－	44.9％		
	指標： 地域における交通事故件数（件）			
	中間目標値	最終目標値（H28末）	目標値と実績値に 差が出た 要因	成果目標の達成状況：達成
	－	63件以下		
	中間実績値	最終実績値（H28末）		
	－	39件		
要素事業に併せて 実施した他事業の 効果の発現状況、 及び本計画以外に 設定した目標値の 実現状況				

3. 今後の方針

継続中の要素事業については、新たに策定した整備計画（「緊急輸送道路における無電柱化の推進（防災・安全）」など2計画）へ移行して引き続き整備することで、都市の防災機能を向上させ、市民の命と暮らしを守るインフラを再構築する。

4. その他特記事項